

特集

ASEAN

次なるステージへ。





特集

ASEAN 次なるステージへ。

イオンのASEANにおける事業は、マレーシアの地から始まった。
お客さまの豊かな暮らしの実現に貢献するという信念を貫き、
一つひとつ課題を解決しながら人々との信頼関係を築いてきた。
いまでは、タイ、ベトナム、カンボジア、ミャンマー、ラオス、フィリピン、インドネシアの
7カ国で小売や金融等の事業を展開しているイオン。
ひとつの市場としてさらなる成長段階に踏み出そうとするASEANを舞台に、
イオンの事業も新たなステージへと動き出している。

買物百景

第六景

同僚からのマレーシア土産

マレーシアへ旅行してきた同僚が、10日ぶりに出勤してきた。少し日焼けした彼女は、友人の結婚式に参加したり、街を散策したりして、のんびり休暇を過ごしたようだ。

日本の企業やブランドは現地の人からも支持されているらしい。そんな土産話とともに、イスラム法で合法であることを示すハラル認証マーク付きのクッキーをもらった。初めて目にするマークに入っていると、そのクッキーをつくっているのは、実は日本企業で、しかもとても人気がある商品なのだと言う。

日本の企業や商品が、文化や風習、宗教の違いで受け入れられ、根付いているというのは、日本人としてなんだかうれしい話だ。私はマレーシアを訪れた経験はない。しかし、もらったクッキーを味わいながら、多民族国家ならではのさまざまな文化が融合する街並みや、お洒落で活気のある人々の様子に想いをはせると、より身近な国に感じられる気がした。

Illustration by SACHIKO IKOMA



AEON Magazine August 2014 Vol.46

contents

- 01 買物百景
- 02 特集

ASEAN 次なるステージへ。

Interview 飛躍するASEANと高まる日本への期待
相星孝一 ASEAN日本政府代表部 特命全權大使

Introduction ASEANにおける事業展開
30年目に考える意義と可能性

ビジネス基盤の確立 マレーシアで培ったもの

商品と物流 ASEAN起点の「トップバリュ」開発

いま、そして未来 新たな展開国で発揮されるグループの力

- 13 暮らしの風流
- 14 AEON SUSTAINABLE ACTIVITIES 環境保全・社会貢献活動
- 15 GROUP NEWS
- 17 グループ企業一覧



Illustration by MIZUE HIRANO

水彩や油彩で情感豊かな作品を生み出すイラストレーター。
特集に合わせて、エネルギーに成長するASEANの姿を
鮮やかで瑞々しい色彩で表現。

発行日：2014年8月31日
発行所：イオン株式会社
コーポレート・コミュニケーション部
〒261-8515
千葉県千葉市美浜区中瀬1-5-1
TEL：(043) 212-6061
ホームページ：http://www.aeon.info/

この冊子はイオンの情報誌です。
Aeon(イオン)はグループの総称です。
本誌上における社外からの寄稿や発言は、
必ずしも当社の見解を表明していません。



を実現するためのASEAN共同体の構築に向けた準備がいま、進んでいます。

ここで鍵となるのは、「格差是正」と「連結性」です。まず、「格差是正」とは先行加盟の6カ国と後続のベトナム、ミャンマー、ラオス、カンボジアとの間にある経済格差の是正です。次に「連結性」。これには推進すべき3つの柱があります。1つ目は、物理的な「連結性」。ベトナム、タイ、ミャンマーをつなぐ東西経済回廊といった、人やモノの移動に欠かせないインフラを整備することが必要です。2つ目は、制度的な「連結性」で、通関手続きをはじめ、国ごとに異なる制度や規格等の調和を図ることです。3つ目は、人と人との「連結性」です。技術者の域内での自由な移動を可能にすることや各国の大学間の交流を深めることなどです。日本政府もこれらの

「2015年の共同体発足はひとつの通過点。さらなる成長に向け、その先の議論も始まっています」

「連結性」を強化するための支援を実施。日・ASEAN友好協力40周年にあたる昨年は、特別首脳会議を開催し、日本とASEANの未来の方向性を示す文書を採用するなど絆を深めています。

来年には、ASEAN共同体が発足します。しかしこれは、ひとつの通過点にすぎません。ASEANでは、すでにその先を見据えた議論も始まっていますし、日本をはじめとした域外国からの意見を積極的に取り入れようとする動きも高まっています。

生活水準の向上とともに高まる日本企業への期待

ASEANでは、国によって差はあるものの、消費意欲旺盛な若い世代の労働人口が拡大しています。所得水準とともに生活水準も上がり、ライフスタイルも変化。例えば、農村から都市に人々が集まる「都市化」が進み、自動車や二輪車、スマートフォンを所有し、インターネットを使いこなす人も増えていきます。また、食生活も大きく変化するとともに、「安全・安心」で高品質なモノやサービスを求める声も高まっています。なかでも日本への期待は明らかに大きくなっていると感じます。

こうした声を背景に、ASEANでの日本企業の事業活動を支援すべく、当代表部ではASEAN側に企業の要望を伝える役割も担っています。

ビジネス環境を整えることは、双方にとって大切なことです。同時に日本企業に対して望むことは、事業活動や雇用創出等による地域の発展への寄与はもちろん、CSR活動などを通じて、地域の人々から愛される存在であってほしいということです。これまでも地域との共存・共栄を目指して展開してきたイオンには、ショッピングモールやディスカウントストア、コンビニエンスストアなどさまざまな業態を通じて、豊富な品揃えや便利なサービスを提供し、人々の暮らしをより豊かにしていってほしいですね。私たちも、イオンをはじめ日本企業の活動を、今後もできる限りサポートしていきます。

PROFILE 相星孝一

あいぼし・こういち

ASEAN日本政府代表部特命全権大使。1983年外務省入省。在韓国日本国大使館公使などを歴任後、2014年より現職。現在、ASEAN事務局のあるジャカルタに駐在。

Interview

飛躍するASEANと高まる日本への期待

来年の共同体構築に向け、域外国まで含めた首脳レベルでの交渉が進み、ASEANはさらなる進化を遂げようとしている。

ASEANのいま、そして、グローバル経済におけるその重要性について、ASEAN日本政府代表部 特命全権大使の相星孝一氏にお話をうかがった。

さらなる成長の鍵は「格差是正」と「連結性」

世界経済を牽引する「成長エンジン」と言われるASEAN。6億人超の人口を抱え、市場として、さらにはさまざまなモノの生産・製造拠点としても大きな可能性があります。

また、政治・安全保障分野においても地域協力の中心に位置するなど、経済・政治の両面で重要な意味を持っています。なかでもグローバル経済においてさらなる成長を遂げるためには、競争力を向上するとともに投資先としての魅力を高めるべく進化していくことが必要です。これ

Glocal

豊かな生活の実現に
貢献するべく、
地域の行政・サプライヤー・
人々とともに



決定スピードを上げるとともに、グループ各社が連携してより効果的に各国で事業を行えるよう、統括・支援することが狙いだ。

アジアシフトを加速するにあたり、「お客さま第一」というイオンの企業姿勢や「安全・安心」という価値観を地域の人々に理解していただくことはもちろん、これまでの経験や培ってきたノウハウをいかすことが重要になってくる。そこで、国や企業の枠を越えて、グループ一体となったアジアシフトをサポートする取り組みも始まっている。

さらに今後は、メーカーやサービスなど、同地域での展開を考えているグループ外の企業との連携も深めていく。これにより、その国にこれまでになかったような新たな商品・サービスの提供も可能になっていくだろう。

ASEANには、6億人の生活者がいる。さらなる経済成長への大きな可能性を秘めたこの地域で、生活や文化の向上に寄与し、人々から信頼される企業を目指して、イオンは新たな挑戦を始めている。

「グローバル」経営で
地域とともに成長

急速な経済発展を遂げるASEANにおいて、イオンは、お客さまの豊かなくらしの実現に貢献する。という変わらぬ信念を貫き、マレーシアで事業をスタート。本年1月にはベトナム、6月にはカンボジアでショッピングモール1号店を開業した。国ごとに異なる国民性や文化・風習を尊重しつつ、その国の成長とともに変化するお客さまのニーズや期待に応えるよう努めている。

ASEANでのイオンの30年。それは地域のお客さまや取引先、行政と連携し、ともに進化し続けた歴史でもある。事業を通じて、国や地域の経済発展や流通の近代化に寄与するという志を掲げ、イオンは、グローバルな視点とローカル、すなわち地域に根ざすという2つの視点をあわせ持つ「グローバル」な経営を実践してきた。雇用を創出し、商品のサプライヤーをはじめとするビジネスパートナーとの関係構築はもちろん、コミュニティの一員として行政とも

Introduction

ASEANにおける事業展開 30年目に考える意義と可能性

1984年、イオンはマレーシアでの事業を開始。イオンの海外展開はここから始まった。

本年、30年の節目を迎えるにあたり、あらためてASEANにおける事業の意義を考えるとともに、今後の事業展開の可能性を探る。

2014



1.ベトナム1号店「イオンモール タンフーセラン」
2.カンボジア1号店「イオンモール プノンペン」

1984



マレーシア1号店「ジャヤ・ジャスコストアーズ ダヤブミ店」が
出店した石油公園ビル

連携しながら、地域やお客さまのためにできることをともに考え、アイデアを出し合って多くの課題を解決してきた。こうした過程を経て、互いの信頼関係を築いてきたのだ。

イオン(株)アセアン事業最高経営責任者の尾山長久は、「30年の間には、成功したこともあれば失敗したこともある。しかし、お客さまはもちろん、行政やサプライヤーも含め、マレーシアやタイの方々がいオンを受け入れ、信頼してくださっているという事実は揺るがない。これは、今後新たな国で事業展開するうえでも大きな財産になる」と語る。

ASEANにおける事業は、
第2ステージへ

イオンは、アジアに根ざす小売グループとしてさらなる成長を遂げるべく、グループ中期経営計画で「アジアシフト」を掲げている。2012年11月には、「グローバル」経営をいっそう進化させるべく、マレーシアで「アセアン本社」を始動。ASEANにおける事業展開の意思

1. 快適な買物環境を提供
(イオンビッグ シャーアラム店)
2. 買物や生活の利便性を向上させる金融サービス
(イオンクレジットサービス マレーシア)
3. お客さま本位の接客を実施
(イオンマレーシア)

First Stage

地域に根ざし、信頼を得るために

そして従業員。マレーシアの人々に日本のような接客サービスを提供したい。そのためには決められたオペレーションを実践し、ルールを身に付けてもらうだけでは十分とは言えない。その根底にあるイオンの理念や想いを従業員に理解してもらう必要があった。そこで日本での研修を実施。研修生たちは日本で学んだことを本国へ持ち帰り、伝えていった。それらをベースにマレーシア独自の教育制度を確立するとともに、サービスレベルを維持、向上させるため、従業員の労働環境や人事制度の充実を図った。頻繁に転職することが珍しくないマレーシアにあっても、

イオンマレーシアでは、小売業の果たすべき役割、そして理念を理解した勤続20年、30年という従業員が先導し、同国でイオンの事業を支えている。

小売業発の金融として
便利なくらしを提案

マレーシアでのイオンのビジネスを語るうえで、金融事業の存在も欠かせない。1996年に現地法人、現在のイオンクレジットサービスマレーシアを設立。家具や家電といった高額商品でも分割払いですぐに手にできるハイヤー・パーチェス事業、同国のノンバンク初となるクレジットカードの発行やATMネットワークの構築を図り、小売と一体となって成長。2007年には、マレーシア証券取引所への上場を果たしている。また、高速道路や電車、バス等の交通機関で利用可能な電子マネーの運用会社との提携クレジットカードを発行するなど、多くのビジネスパートナーと連携し、小売業発の総合金融事業会社として、人々のくらしを便利にするサービスを提供し続けている。

ビジネス基盤の確立

マレーシアで 培ったもの

グループのアセアン事業を牽引してきたマレーシアでの事業。30年という年月のなかで、お客さまやビジネスパートナーとの間に揺るぎない信頼関係を築いてきた。ここでは、マレーシアでどのように関係を築き、ビジネスの基盤を確立してきたかを検証する。

国や地域にとつて
価値ある企業を目指して

イオンの海外1号店は、マハティール元マレーシア首相の要請を受け出店した「ジャヤ・ジャスコストアーズ ダヤブミ店」だった。当時の様子をイオン(株)アセアン事業最高経営責任者の尾山長久は次のように語る。

「二人ひとりが事業の重要性を認識し、マレーシアにとつて価値ある企業になるのだ」という強い想いを持って取り組んでいた。その想いを受け継ぎ、今日まで真摯に取り組んできたからこそ、地域の人々に支えられ、ここまで来られたのだと思う。いまでは、「イオンマレーシア」は、日本ではなくマレーシアがルーツの企業だと思っている人もいくつある。この国に根づくことができた。多くの課題を解決しながら、イオンがどう小売の基盤を築いてきたかについて、売場づくり、商品、従業員の3つの観点から見ていこう。

まず売場づくり。マレーシアは人口の半数以上をマレー系の人々が占める。そのニーズに応え、ハラール*を揃えた売場づくりをする

ことが必須だ。同時に多民族国家であるマレーシアでは、中国系やインド系のお客さまも快適に買物を楽しむ売場も必要だった。そこで食品売場はハラール、ノンハラール、さらには、インポートコーナーを設置するなど、マレーシアの文化や慣習を取り入れた売場構成に。また、ショッピングモールでの時間がより充実したものになるよう、小売はもちろん、シネマコンプレックスなどのさまざまなサービス施設を誘致。買物だけでは新しい新たな過ごし方を提案した。

次に商品。事業を開始した当初は、知名度が低く、商品の仕入れも容易ではなかった。しかし、取り引きを重ねていくなかで、サプライヤーとの関係が変化。「イオンではなぜ商品が多く売れるのか」と店舗を訪れたサプライヤーは、ゴミひとつない売場に丁寧に陳列された自分たちの商品そして懸命に接客・販売する従業員の姿を見ることが、イオンの事業と姿勢への理解をいっそう深めていったと言う。信頼関係を築き、さらに商品開発においても協働体制を構築することで、イオンの事業とサプライヤーとともに成長していった。

*ハラール：豚やアルコールなどを禁じるイスラム法で、「合法」と認められたもの。食品のほか、医薬品や化粧品などにもある。



1. マレーシア1号店「ジャヤ・ジャスコストアーズ ダヤブミ店」(1985年オープン)
2. ジャスコ ベルマジャヤショッピングセンター(2004年オープン) (現イオン ベルマジャヤショッピングセンター)
3. イオンモール キット マルタジャム(2014年オープン)

イオントップバリュタイランドでは、タイ国内にある日本向けのトップバリュ製造工場との取り引きも開始。折りたたみ傘ではUVカット機能を高めるなど、現地の市場のニーズに合わせて仕様を変更。また、ココナッツミルクを使用した冷凍スイーツ、魚のトマト煮缶詰や調味料など、タイならではの特徴を出しつつ、他のASEANの国々や日本、中国での展開も見越した商品開発にも積極的だ。

さらに、地域のお客さまが抱える問題解決の一助となることを目指した商品も開発。殺虫・忌避効果を持った蚊帳「トップバリュオリセット・ネット」もそのひとつだ。ASEANの約4割の人が、蚊を媒介とした感染症リスクのある地域に居住していると言われていたが、世界保健機関（WHO）が性能を認めた長期残効型蚊帳の開発技術を有する住友化学（株）と協業。6月にベトナムとカンボジアで同時発売を果たし、展開エリアや商品構成の拡大も見込んでいる。

独自の商品開発と 物流網構築の推進

高く評価されており、同機関の認証を取得することで、マレーシアはもちろん、ASEAN各国、さらには全世界のハラル市場への商品展開も可能になる。将来的には、日本在住のイスラム教徒の方々のために、マレーシアでハラル認証を取得した「トップバリュ」が届く日も来るだろう。イオントップバリュマレーシアでは、商品の開発スピードを早め、2016年度までに約1,500品目まで拡充することを計画している。

こうした商品開発はもちろん、イオン独自の物流施設の整備も進めている。マレーシアでは、イオンマレーシアの物流を担っているイオングローバルSCMマレーシアが、2012年のイオンビッグマレーシアのグループ入りを受け、2社の物流統合に向けて準備中だ。タイでは、イオンタイランドの店舗数増加に対応した出荷機能の拡大などを計画するとともに、日本向けの商品輸出機能を担っていた施設にカンボジア向けの商品在庫・出荷機能を付加するなどの強化を図った。今後も、店舗数や「トップバリュ」の流通量の増加に対応し、物流も進化させていく。

商品と物流

ASEAN 起点の 「トップバリュ」開発

昨年、タイとマレーシアにイオンのブランド「トップバリュ」開発を行う現地法人を設立。各地域のお客さまのニーズを取り入れ、ASEAN 独自商品の開発を進めている。

同時に、同地域での店舗数の増加、およびモノの移動におけるボーダーレス化の進展を見据え、イオンならではの物流インフラの整備も進めている。

「安全・安心」の「トップバリュ」を
ASEANのお客さまに

「お客さま第一」という姿勢を表現するイオンのブランド「トップバリュ」。ASEAN各国の店舗においても、地域のお客さまの声を取り入れ、徹底した品質管理のもと製造し、品揃えを拡大している。現地で商品開発を担うのは、イオントップバリュマレーシアとイオントップバリュタイランドの2社。日本で培ってきたノウハウをいかしながら、ASEAN各国で小売業を展開するグループ会社と連携し、より豊かで便利なくらしに役立つ商品の開発を目指して取り組んでいる。

拡大する ハラル市場への挑戦

約16億人にとぼると言われるイスラム教徒の方々に向けた商品、すなわち、ハラルの市場が拡大するなか、マレーシアは、国家戦略としてハラル・ハブ政策を打ち出し、政府系としては世界で唯一のハラル認証機関であるイスラム開発局（JAKIM）が認証を行っている。JAKIMの信頼性は



1



2



ハラル認証マーク



3

- 1.「トップバリュ」の売場を拡大（イオン バンダウタマ店）
- 2.JAKIMのハラル認証を受けた「トップバリュ ピザ チキンアラハ」
- 3.タイで開発されたタイスキなどに使う万能調味料「トップバリュ スキヤキソース」

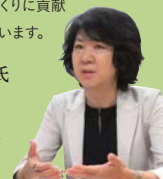
Voice

ASEANの人々の 安心で快適なくらしのために

当社は10年以上にわたり、マラリア撲滅を目指す国連の活動に協力し、アフリカ等の国々にマラリア防除用の長期残効型蚊帳を広めてきました。この蚊帳の技術に関心を持ってくださったイオンさんからの働きかけで誕生したのが、ASEAN向けに商品化した蚊帳「トップバリュ オリセット・ネット」。イオンさんの小売における知見や販売網と当社の技術を融合して開発した商品を通じ、これからも人々の安心で快適なくらしの環境づくりに貢献していきたいと思います。

広岡 敦子氏

住友化学（株）
理事
ベクターコントロール
事業部長



Indonesia



2

Cambodia



1

Support

マレーシアで培った経験・

Teams

ノウハウを新規展開国へ



- 1.お客さまで賑わう
デリカ売場
- 2.家族連れのお客さまが
多く来店
(1・2「イオンモールブンペン」)



1



3



2

Japan



Malaysia

いま、そして未来

新たな展開国で 発揮されるグループの力

本年、イオンは「アジアシフト」の加速に向け新たな一歩を踏み出した。
数年にわたる基礎固めを終え、1月にはベトナム、6月にはカンボジアでの1号店を出店。
そこでは、国や企業の枠を越えたイオンならではの連携が鍵となった。

グループの総合力を発揮し、
これまでにない店づくりを実現

2014年1月、ベトナムのホーチミンに、イオンの同国1号店「イオンモールタンフーセラドン」がオープン。連日多くの来店客でにぎわっている。これまで、市場、同じ品種を扱う店舗が集まった専門店街、あるいはディスカウントストアなどで買物するのが主流だったベトナムの人々。必要なものを揃えるには、そうした複数の店舗を回る必要があった。しかし、「イオンモールタンフーセラドン」では、1カ所で衣食住の商品が揃い、子どもから大人まで家族全員の買物ができる。さまざまなエンターテインメント施設も備えた滞在型ショッピングモールだ。

同モールの核店舗である総合スーパー「イオンタンフーセラドン店」で特徴的なのはデリカ売場。外食比率が高く、買ってその場で食べるという同地域の習慣に合わせ、オープンキッチンを設けた売場とイートインコーナーを地域最大規模の約1,000㎡で展開する。日本の総合スーパーとは全く違う光景であるが、ここで提供

するのは日本と同じ「安全・安心」な食品。また、同国で最も人口構成比が高い子育て世代のために、㈱イオンファンタジーの「室内ゆえんち」。「モーリーファンタジー」を展開している。安全に、そして快適な環境で

新規出店にいかされる
経験と信頼関係

遊べる施設として子どもにも保護者にも好評だ。金融サービスでは、ACSトレーディングベトナムが割賦販売の無金利キャンペーンを展開。高額商品の購入のハードルが下がり、お客さまは気軽に買物を楽しめるようになる。グループの総合力を発揮し、これまでにないショッピング体験を提供することで、開店から1カ月間の来店客数は約220万人に。しかし、ベトナムでの事業はまだ始まったばかり。お客さまにとっていっそう魅力ある店舗とするため、すでに売場の活性化に着手している。

ベトナム1号店の好調な滑り出しを支えたのは、現地の従業員はもちろんであるが、その陰にはイオンマレーシアの存在があった。同社出身のスタッフを中心に結成された。新店サポートチーム。が、国や文化、言葉の壁を越え、商品の仕入れルートの構築から、ITの整備、従業員教育に至るまでさまざまな分野で支援。マレーシアで30年にわたり蓄積して

お客さまの豊かな生活の
実現に向けて

きた経験やノウハウ、取引先との信頼関係が、新たに展開するベトナムでの開発、円滑な店舗運営に大きく寄与することとなった。

このサポート体制はさらに拡大。6月に開店したカンボジアの1号店「イオンモールブンペン」には、マレーシアやタイ、そしてオープン間もないベトナムからも、従業員が応援に駆け付けている。同店においても、地域のお客さまのニーズに応える売場づくりを実施。ショッピングモールでの新しい時間の過ごし方を提案し、多くのお客さまにご来店いただいている。

ベトナム、カンボジアに続き、来年にはインドネシアに出店。ミャンマーでも出店に向けた準備が進んでいる。ショッピングモールをプラットフォームとして、小売、金融、サービス等のグループの各企業が連携し、ASEANのお客さまの豊かな生活を実現するため、イオンはこれから更なる革新を続けていく。

AEON SUSTAINABLE ACTIVITIES

サステナブル(持続可能)な社会を目指して。地域の皆さまとともに、環境保全・社会貢献活動を行っています。
(2014年4月~6月)

環境保全

ベトナムの中学校10校に 太陽光発電設備を贈呈

4月23日、(公財)イオン環境財団はベトナムの中学校で太陽光発電設備の贈呈式を行いました。同財団は、環境にやさしいエネルギー活用の啓発と普及を目的に、2009年より日本とマレーシアの中学校25校に同設備を贈呈しています。本年はベトナムの10校へ寄贈する計画です。



Tan Nhut 中学校
(ホーチミン市)に
太陽光発電設備を贈呈

中国の重点風景名勝区・太湖 沿岸部で「中国 蘇州植樹」を実施

5月17日、(公財)イオン環境財団は、中国の江蘇省蘇州市において植樹を実施。太湖では、周辺の開発で生態系に深刻な影響が及んでいます。そこで同市では太湖の生態系修復や環境再生計画を進めており、同財団ではこの計画に賛同し、日本と中国のボランティア合計930人の方々と約3万本の苗木を植樹しました。



地域に自生する木々
約3万本を植樹

北海道むかわ町での 3カ年計画の植樹を完了

6月21日、(公財)イオン環境財団は、北海道むかわ町での植樹活動を実施。約500人のボランティアの方々とともに6,000本の苗木を植えました。同財団は生態系を支える森を守るため、2012年にむかわ町と森林整備協定を締結。3年で合計約1万6,000本を植樹しました。



3年で合計
約1万6,000本を植樹

社会貢献

「イオン グローバルリーダーズ インターンシップ2014」開催

イオンは、グローバルに活躍することを目指す企業家精神あふれる学生に経験の場を提供すべく、「『WHO IS THE NEXT GLOBAL LEADER』イオン グローバルリーダーズインターンシップ2014」を開催。日本、中国、シンガポール、アメリカそれぞれの国での選抜後、12月開催の「グローバルカップ」に出場。国を越えた混合チームで、2020年に向けたイオンの事業戦略を策定。英語でのプレゼンテーションなどを経て優勝チームが決定されます。

3.11 復興への願いをカタチに

イオンは、被災地の復興と「夢のある未来」の実現に向け、お客さまと手を携え、さまざまな取り組みを行っています。

三陸鉄道の全線運行再開を記念した 特別商品と数量限定「WAON」を発売

三陸鉄道の全線運行再開を記念し、同鉄道および岩手県久慈市漁協との共同企画商品「骨取り味つきさんま」と、特別デザインのイオンの電子マネー「WAON」カードを発売。また、同県内のグループ20店舗で「三陸まつり」を開催しました。



三陸鉄道全線復旧
特別デザインの
「WAON」カード

被災された障がい者の方々に応援する 「障がい者 ものづくり応援募金」

イオンは2月21日から3月11日まで、グループ60社約8,000の店舗・事務所で「障がい者 ものづくり応援募金」を実施。お客さまと従業員からの募金に(一財)イオンワンパーセントクラブが同額を拠出。4月11日、認定NPO法人難民を助ける会へ3,251万4,796円を寄付しました。



中国

荘厳な響きで人々を守る「風鐸」

古くは竹林の竹に吊るし、風向きや音の強弱から吉凶を占っていた「風鐸(ふうたく)」。のちに、厄除けへと用途が変わり、寺院の軒先で見られるようになりました。音が届く範囲に住む人々は、災いから守られるとされています。

ココが
ポイント

強い風で鳴る
重厚なつくり

日本

涼しさを演出する 「江戸風鈴」

19世紀の江戸の町で
仏具として生まれた「江戸風鈴」。
無色のガラスでできた
絵付け面を水槽に見立てた
金魚の絵など、涼しげな絵柄が
人気を集め、夏の嗜好品として
広まりました。

ココが
ポイント

ガラスの内側に
描かれた
色鮮やかな絵柄

奏でる 風鈴

ふうりん

暮らしの風流

ココが
ポイント

響きを高める
へらのような形

インドネシア

軽快な音を奏でる 「バンブーチャイム」

竹の産地として知られる
バリ島の「バンブーチャイム」。
家の軒先や窓際に飾り、
竹が奏でる軽やかな音を
楽しむのはもちろん、
楽器としても用いられています。



GROUP NEWS

2014年4月 >>> 6月

Corporate Initiatives

フェリカポケットマーケティング㈱がグループ入り「WAON」をさらに使いやすく

イオン㈱は、フェリカポケットマーケティング㈱の株式を74.9%取得し、連結子会社としたことを発表。イオンの電子マネー「WAON」には、同社の非接触ICカード技術「FeliCa」を活用しており、今後、「WAON」にクーポンサービスや行政サービスなどを搭載し、お客さまの利便性をさらに高めていきます。

Corporate Initiatives

「ファンタジースキッズガーデン」「マザーズセレクション大賞」受賞

㈱イオンファンタジーが展開する「ファンタジースキッズガーデン」が、NPO法人日本マザーズ協会主催の「第5回マザーズセレクション大賞（ベストサービス部門）」を受賞。子育てママ約2万人の投票で選ばれる同賞において、遊びを通じ、子どもの「こころとからだの基礎体力」の向上をめざす同サービスが高く評価されました。



ファンタジー
スキッズガーデン

Corporate Initiatives

「首都圏におけるスーパーマーケット連合」創設に向けた検討開始に合意

イオン㈱は、㈱マルエツ、㈱カスミ、丸紅㈱とともに「首都圏におけるスーパーマーケット連合」創設に向け、検討を開始することで合意。2015年3月までに㈱マルエツ、㈱カスミ、およびイオン㈱連結子会社のマックスバリュ関東㈱の3社で共同持株会社を設立。各社の総力を結集し、お客さまにより豊かな食生活を提供していきます。

Global Initiatives

カンボジアにイオン1号店「イオンモールプノンベン」オープン

カンボジアにおいて最大規模となるショッピングモール「イオンモールプノンベン」をオープン。同国はもちろん国際色豊かな最先端のテナント約190店に、シネコン、スケートリンク、テレビ局スタジオも有しています。オープンセレモニーには、同国のフン・セン首相、日本の岸田文雄外相もご臨席。カンボジアのお客さまの期待にお応えし、新しいライフスタイルを提案していきます。



イオンモールプノンベン



蚊が媒介する感染症リスク軽減に向け、世界保健機関(WHO)公式推奨の蚊帳「トップバリュ オリゼット®ネット」をASEANで開発。6月21日より、ベトナムとカンボジアの「イオン」で発売。

Corporate Initiatives

機能を絞って通信費を抑えた「イオンのスマートフォン」第1弾を発売

イオンは日本通信㈱と協業し、日本全国の「イオン」など約170店舗にて「イオンのスマートフォン」8,000台を限定発売しました。端末代金と通話料を明確に分けたわかりやすい料金体系に加え、通信音声通話やWeb閲覧など、機能を絞ることで通信コストを抑え、月額2,980円(税抜)を実現しました。

Global Initiatives

中国・江蘇省にイオン初のショッピングモール「イオンモール蘇州呉中」誕生

中国・江蘇省に「イオンモール蘇州呉中」をオープン。総合的な開発が進められる経済特区に位置し、最新のファッションから雑貨、キッズ体験施設まで約190店舗を展開。地域最大の多機能複合型モールとして「感動」に出会える場所を目指します。



イオンモール
蘇州呉中

Corporate Initiatives

ウエルシアホールディングス㈱との業務・資本提携を深化

イオン㈱は、業務・資本提携先であるウエルシアホールディングス㈱との関係を深化させることを決定し覚書を締結。「日本一のドラッグストアチェーン」構想の実現に向けて、事業・組織再編ノウハウやさまざまな経営資源の提供、資本関係の強化、人材交流などを進めていきます。



6月1日発行
「なると第九WAON」第九アジア初演の地 鳴門市

Corporate Initiatives

「イオンシネマ」の大スクリーンで「だいち2号」打ち上げを中継

イオンエンターテイメント㈱は、「イオンシネマ」10劇場に合計1,000名のお客さまを招待し、宇宙航空研究開発機構(JAXA)の陸域観測技術衛星「だいち2号」打ち上げのパブリックビューイングを開催。同社はこのほかイオンのフェアと連動して「タイフェア」や「アメリカフェア」を開催するなど、シネコン初となるイベントを次々に企画。映画興行の枠を越えた取り組みを展開しています。



「だいち2号」のパブリックビューイングの様子(イオンシネマ広島)

Corporate Initiatives

「イオンカード」、「OMCカード」の「お客さま感謝デー」での優待サービスを共通化

イオンは、「イオンカード」と「ダイエー」「グルメシティ」などで優待特典のある「OMCカード」の会員さま向けサービスを共通化。毎月20日・30日の「お客さま感謝デー」に、「イオン」「マックスバリュ」「ダイエー」「グルメシティ」などグループ店舗での買物がどちらのカードでも5%引に。両カードのサービス拡大で、より便利にお得なショッピング環境を提供します。

グループ企業一覧

太字は株式公開企業 ○は持分法適用関連会社 ●は友好提携会社

〈純粋持株会社〉

イオン株 〈GMS（総合スーパー）事業〉

イオンリテール株
株ダイエー
イオン北海道株
株サンデー
イオン九州株
株アシーネ
株アルティファーズ
イオンバイク株
イオンペーパーカー株
イオンリカー株
イオン琉球株
株オレンジファードコート
株鹿児島サンライズファーム
株グルメシティ関東
株グルメシティ近畿
株ジョイ
株消費経済研究所
株ダイエースペースクリエイト
トップバリュコレクション株

株中合
株日本流通リース
株ビッグ・エー
株ビッグ・エー 関西
株ファンフィールド
株ボンデ
株ボンベルタ
株マルシェ
株ロジワ
株ロベリア
株OPA
○株テンダイ

〈SM（スーパーマーケット）・DS（ディスカウントストア）・小型店事業〉

ミニストップ株
マックスバリュ西日本株
マックスバリュ東北株
マックスバリュ東海株
マックスバリュ中部株
マックスバリュ北海道株
マックスバリュ九州株

○株マルエツ
○株いなげや
○株カスミ
○株ベルク
イオンスーパーセンター株
イオンビック株
イオンマーケット株
オリジン東秀株
株クリエイト
株光洋
株山陽マルナカ
ネットワークサービス株
まいばすけっと株
マックスバリュ関東株
マックスバリュ長野株
マックスバリュ北陸株
マックスバリュ南東北株
株マルナカ
株れこっず
MINISTOP KOREA CO., LTD.
青島迷你島便利店有限公司
永旺美思倍乐（广州）商业有限公司
永旺美思倍乐（江苏）商业有限公司
永旺美思倍乐（青岛）商业有限公司

○株いちまる 〈ドラッグ・ファーマシー事業〉

株CFSコーポレーション
○株ウエルシアホールディングス株
株メディカル光
●株ツルハホールディングス
●株クスリのアオキ
シミズ薬品株
タキヤ株
○株ウェルパーク
○株ザグザグ

〈総合金融事業〉

イオンフィナンシャルサービス株
AEON 信託財務（アジア）有限公司
AEON THANA SINSAP (THAILAND) PLC.
AEON CREDIT SERVICE(M)BERHAD
○イオンリート投資法人
株イオン銀行
イオンクレジットサービス株
イオン少額短期保険株
イオン住宅ローンサービス株
イオンプロダクトファイナンス株
イオン保険サービス株
イオン・リートマネジメント株
エー・シー・エス債権管理回収株
フレリカポケットマーケティング株
ACS CAPITAL CORPORATION LTD.
AEON Insurance Service (Thailand) Co., Ltd.
ACS SERVICING(THAILAND)CO.,LTD.
ACS TRADING VIETNAM CO.,LTD.
AEON CREDIT SERVICE INDIA PRIVATE LIMITED
AEON CREDIT SERVICE (PHILIPPINES) INC.
AEON CREDIT SERVICE SYSTEMS (PHILIPPINES) INC.
AEON Leasing Service (Lao) Company Limited
AEON MICROFINANCE(CAMBODIA)PRIVATE COMPANY LIMITED
AEON MICROFINANCE (MYANMAR) CO.,LTD.
AEON MICRO FINANCE (SHENZHEN) CO.,LTD.
PT.AEON CREDIT SERVICE INDONESIA
沈阳金融商贸开发区永旺小额贷款有限责任公司
台湾永旺財務服務股份有限公司
台湾永旺信用卡股份有限公司
天津永旺小额贷款有限公司
永旺保険顧問（香港）有限公司
永旺金融服務（香港）有限公司
永旺信用担保（中国）有限公司
永旺資訊服務（深圳）有限公司

〈デベロッパー事業〉

イオンモール株
イオンタウン株
AEON MALL VIETNAM CO., LTD.
AEON MALL (CAMBODIA) CO., LTD.
PT. AEON MALL INDONESIA
PT.AMSL INDONESIA
永旺夢乐城（江苏）商业管理有限公司
永旺夢乐城（广东）商业管理有限公司
永旺夢乐城（湖北）商业管理有限公司
永旺夢乐城（中国）商业管理有限公司
永旺夢乐城（中国）投资有限公司
永旺夢乐城（浙江）商业管理有限公司
永旺夢乐城（武汉）商业管理有限公司

〈サービス・専門店事業〉

イオンディライト株
株イオンファンタジー
株ツヴァイ
株ジューフト
株コックス
○株タカキュー
アビリティーズジャスコ株
株イオンイーハート
イオンエンターテイメント株
イオンカルチャー株
イオンコンパス株
イオンディライトアカデミー株
イオンディライトセキュリティ株
イオンディライトセレス株
株イオンフォレスト
イオンベイト株
株イオンボディ
エイ・ジー・サービス株
株カジタ
環境整備株
関東エンジニアリング株
クレアーズ日本株
コスメム株
株ジェネラル・サービスーズ
タルボットジャパン株
株ドゥサービス
プランシエ株
株未来屋書店
株メガスポーツ
メガベトロ株
リフォームスタジオ株

ローラアシュレイジャパン株
Aライフサポート株
AT ジャパン株
FMSソリューション株
AEON DELIGHT (MALAYSIA) SDN.BHD.
AEON DELIGHT (VIETNAM) CO., LTD.
AEON Fantasy Group Philippines,INC.
AEON Fantasy Holdings(Thailand)Co.,LTD.
AEON FANTASY (MALAYSIA) SDN.BHD.
AEON Fantasy (Thailand) Co.,LTD.
ZWEI(THAILAND)CO.,LTD.
大連东软信息服务有限公司
美嘉（上海）商贸有限公司
羅蘭愛思亞洲有限公司
美嘉斯波（北京）商贸有限公司
新脚歩（北京）商贸有限公司
苏州日富电梯设备工程有限公司
苏州上品洗滌服务有限公司
苏州仲联物业管理服务有限公司
台湾洛拉股份有限公司
泰波姿（上海）商贸有限公司
永娃（北京）宠物用品有限公司
永旺幻想（中国）儿童游乐有限公司
永旺一心餐饮管理（青岛）有限公司
永旺永乐（杭州）服务外包有限公司
永旺永乐（中国）物业服务服务有限公司
永旺永乐苏房（苏州）物业服务服务有限公司
永旺永乐泰达（天津）物业服务服务有限公司
武汉小竹物业管理有限公司

〈Eコマース事業〉

イオンダイレクト株

イオンリンク株

〈アセアン事業〉

AEON ASIA SDN. BHD.
AEON Co. (M)Bhd.
AEON BIG (M) SDN. BHD.
AEON INDEX LIVING SDN. BHD.
AEON VIETNAM Co., LTD.
AEON (CAMBODIA) Co.,Ltd.
AEON (Thailand) CO., LTD.
PT.AEON INDONESIA

〈中国事業〉

永旺（中国）投资有限公司
永旺（香港）百貨有限公司
广东永旺天河城商业有限公司
青岛永旺东泰商业有限公司
永旺华南商业有限公司
永旺华东（苏州）商业有限公司
永旺（湖北）商业有限公司
永旺商业有限公司

〈機能会社等〉

○株やまや
イオンアイピス株
イオンアグリ創造株
イオングローバルSCM株
イオン商品調達株
イオントップバリュ株
イオンフードサプライ株
イオンマーケティング株
コルドンヴェール株
株生活品質科学研究所
合同会社アミカス・ファンディング・コーポレーション
AEON GLOBAL SCM SDN.BHD.
AEON TOPVALU MALAYSIA SDN.BHD.
AEON TOPVALU (HONG KONG) CO., LIMITED
AEON TOPVALU (THAILAND) CO.,LTD.
AEON 信息系统集成（杭州）有限公司
Tasmania Feedlot Pty. Ltd.
永旺環球（北京）国际货运代理有限公司
永旺特慧優國際貿易（上海）有限公司
○イオンデモンストレーションサービス南

- （一財）イオンワンパーセントクラブ
- （公財）イオン環境財団
- （公財）岡田文化財団
- AEON 教育及環境基金

2014年5月末現在



5. 〈Japan〉ダイエーいちかわコルトンプラザ店 Dai-ichi Ichikawa Colton Plaza Store 6. 〈Japan〉マックスバリュ稲毛長沼店 Maxvalu Inage-Naganuma Store
7. 〈Japan〉ASBee イオンモール幕張新都心店 ASBee Makuhari New City Store 8. 〈Japan〉イオン東久留米店 Aeon Higashi-Kurume Store